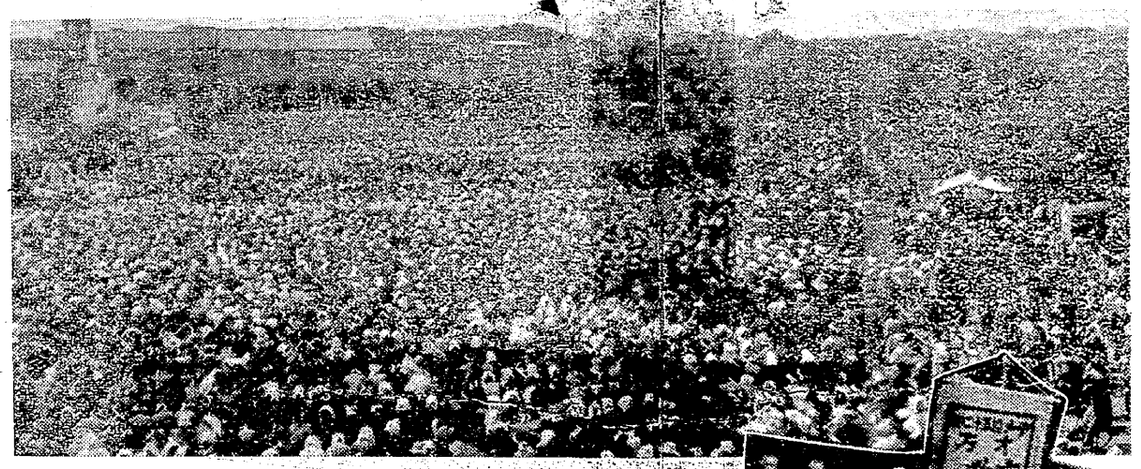
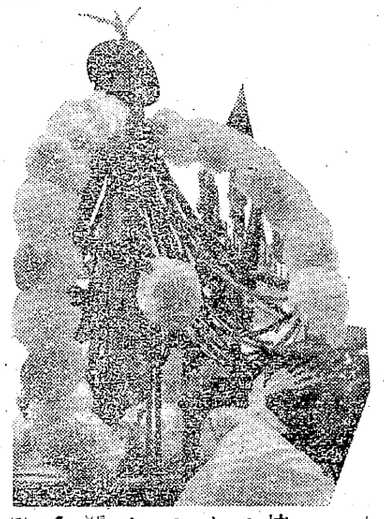
世界をつなげはなの
あふれる平和と生活



罷り通る 疑獄内閣 許すな 婦は叫ぶ〝国内清掃〟を

ムシロ旗おしたて農民も初参加

この日の人気の中心は、なんといつても三池炭労宮浦支部の「吉田疑獄内閣討伐隊」と大ノボリをおしたての假装デモだ、平和、独立、自由と書いたノコギリ、オノ、スコップも つ陣羽織姿の彰義隊。數々の汚職、松川のデッチ上げ、教育破壊法賣國條約、再軍備など の罪狀書を先頭に、吉田の首を打ちとつて引きあげる忠臣藏、鬼畜吉田征伐の桃太郎、メ カケをつれた税金ドロ坊の政治家の列、これにつづく國内清掃隊、最後は組合の團結デモ 隊など、古い傳統のなかに現代のよごれた世相に飽い批判を浴びせる假裝行列に万場の目 をあつめ度膽を抜いた、市民からも壓倒的な好意の拍手がまき起る。「市民に親しまれる メーデー」を目ざし宮浦支部では居住地域毎に全員が連日精魂かたむけ趣向をこらした



メーデー俳句

坑口に労働祭の太鼓打つ　加藤香月
メーデーの四十七士についてゆく　同
メーデーの假裝の妻を間違えて　鬼塚忠美
デモの列假裝の列や労働祭　江島若亭

〝労働歌〟を放送

メーデー朝の大牟田驛

メーデーに参加した、汽車通勤の一般の旅行者さえも、何事だろう？一労働者は語つた。と云つた顔を窓から出している。「今朝は、汽車が大牟田駅に止ると、構内のスピーカーが〝民族独立行動隊、この歌をやつているんですよ。ピツクリしましたね。一ですよ。ピツクリしましたね。実に」どんなもんだい、と云つてやりたかつたですよ。この時は、自分が労働者であることがうれしかつた

寫眞コンクール

メーデーを中心に働く人のあいだで寫眞熱が全国的にたかまつてきた。メーデー中央実行委員会、大地評では、これを機会につぎの要領で「メーデー寫眞コンクール」をやることになつた

◇主題＝メーデー当日、前夜祭、平和大集会に取材したもの労働者の生活をえがいたもの。
◇應募種目＝(一部)密着(二部)引伸し(キャビネ以上)
◇締切り＝五月二十五日
◇送り先＝大牟田市有明町大牟田地方労組評議会
◇審査＝(東京)田村茂、土門拳、山田周平その他大牟田の專門家及び主催者合同審査。
◇賞＝後援各社団体から提供。◇發表＝六月中旬。
◇應募作品＝制限なし。

映畫になる

大牟田メーデー

中央で集約、全世界に紹介

世界の各労組からの注文で、総評(弘)を中心にメーデー準備風景、前夜祭、メーデー大会、デモ風景等を約三百フイート(三十五ミリ)撮影した。なおこれを早速十六ミリに焼付してもらつて「大牟田地区統一メーデー」の記録映画として完成、六月下旬封切の予定。

寫眞(上)
大牟田のメーデーを全日本に、全世界に。
…総評派遣清水カメラマンの撮影スナップ。

1953年
アカデ
トヨ
結局お
松
西岡
大牟田市上

通産省選定の店
平和堂無線
創業20年　信用と技術
ゼネラル サンヨー マツダ ナショナル ビクター
五球スーパー完全キツド
三、九五〇円
本店＝駛馬町宮ノ原　電4825番
支店＝上官町二丁目　電4446番